

平成 2 6 年 度

学 校 監 査 報 告 書
(笛吹市立春日居中学校)

笛吹市監査委員

1 監査の対象

春日居中学校に係る財務に関する事務の執行状態並びに事業の管理状態について監査を実施。

2 監査基準日・監査の範囲

平成26年4月30日現在の財務及び事務に関すること

3 監査の実施日

平成26年6月11日（水） 午後2時25分から

4 監査の方法

監査の対象となった下記項目について、春日居中学校から提出された資料に基づき説明聴取を行うとともに、関係帳簿、証憑書類の突合及び計算突合等により関係諸記録を相互に付き合わせ、その記録又は計算の成否を確かめた。

- 1 「学校概要」
- 2 「学校長に対する事務委任の範囲について」
- 3 「歳出状況調書」
- 4 「負担金補助金及び交付金支出（予定）状況調書」
- 5 「負担金補助金及び交付金の管理状況調書」
- 6 「委託契約（一般委託）（予定）調書」
- 7 「賃貸借に関する調書」
- 8 「学校が扱う公金以外の現金の管理状況調書」
- 9 「郵便切手受払状況」
- 10 「学校運営に係る懸案事項」
- 11 「指定事項調書」
 - ①学力向上への取組み状況について
 - ②教職員の体罰の状況について

5 監査の着眼点

監査にあたり次の点に着眼し監査を行った。

- ・ 事務事業が法、条例規則等に則り適正に行われているか。
- ・ 現行の事務事業が適正なものか否か。
- ・ 現金出納が適正に行われているか。

6 監査の結果

(1) 予算・財務に関する事務

平成26年4月30日現在における春日居中学校から提出された一般会計歳出状況調書の金額は、監査の結果関係帳簿等の記載金額と一致し適正に執行されていた。郵便切手等については、春日居中学校において所有している保管枚数と受払簿に間違いはなく、適正に管理されていた。支出伝票関係についても適正に処理されていた。

なお、学年費、給食費等の学校納付金についても、適正な管理が行われてい

た。

(2) 事務・事業の執行状況

春日居中学校に係る事務事業の執行については、良好であると認められる。
なお、監査において気がついた点を後述するので、今後適切な措置を講じられたい。

7 指摘・要望事項

学校教育課	事務事業	①学校施設老朽化に伴う長年の水漏れ腐食等の懸案事項については、生徒及び施設利用者の安全確保を最優先し、教育総務課施設担当とも協議する中で検討されたい。
-------	------	---

- 地方自治法第 199 条第 12 項の規定により監査結果に基づき講じた処置の内容について平成 26 年度定期監査資料の中で報告をお願いします。

8 指定事項の回答について

本監査において、監査委員が指定した事項（指定事項調書）については、その現状及び今後の方針等が以下のとおり回答された。

《指定事項①》

学力向上への取組み状況について

《現状及び今後の方針等》

現状

26 年度になって 1 年生の学力実態を把握するために 4 月 11 日に『新入生テスト』を行った。その結果はかなり厳しい状況であった。

4 月より始まった各教科の授業を通して状況把握に努めている段階

2 年生、3 年生については、昨年の学習の指導と評価から実態を各教科で把握している。

全体の傾向としては次のことが言える（課題点）

国語は A 問題も B 問題も全国の正答率より上回っている。

①国語では、25 年度の結果からは敬語に弱いことがわかった

②書くことが苦手（伝えたいことが分かる用に理由を入れて書くことなど）

③無答率がやや高い（あきらめてしまう傾向がある）

数学は A 問題は正答率ほぼ同じ

B 問題が若干弱い

①求め方を説明するような問題に弱い

②ある方法で求めることができることを説明する事が弱い

そこで全校あげて、思考判断表現の力の育成に重点を置いている。

生活面の課題は

①全国よりも就寝時間が遅く起きる時間も遅い。さらに、睡眠時間が短い傾向にある

TV を見たり、携帯スマホゲームをしたりしている時間が長い傾向にある

②学習面で、調べる活動が少ない傾向にある

③勉強時間が少ない傾向にある

対策（今後の方針含めて現在取り組んでいること）

考える力アップの為に

・自分で考えたことに自信をもたせる（家読を年 3 回実施している）

・委員会集会などの発言の場づくり、ゆずり葉（学校便りの課題作文）

- ・各教科の授業における「言語活動」として『説明する・説得する』などを十分に行う
- ・身に付けた知識技能を活用させることを意図的に仕組む授業づくり
- ・書く力の日常的鍛錬として『生活・学習記録簿』を書かせる
生徒が書いたものを、教員がチェックし、返事を書いてのやりとりを継続している
- ・学習推進委員会による『朝の15分活動』により月英数の問題／火はその力だめし／水木金は読書
生徒自身の努力で克服できることは努力させる。(教え合い・学び合いを仕組む＝水の放課後)

コミュニケーション力アップの為に

- ・各家庭で週に1回『ノーTV・ノー携帯・ノーゲームの曜日』を決めて生徒帰宅後から就寝までの時間を親子家族で会話を楽しむ取組の継続
- ・図書読書委員会による『ビブリオバトル』『リテラチャーサークル』などをして読んで考えてコミュニケーションを図る活動を繰り返している
- ・職員室をカウンター方式に改善した(26年度より)
これにより、生徒の対話力の訓練を継続
- ・各授業ではペアコミもしくは4人のコミなどの「話し合いや考えの交流場面」を仕組んでいる(主発問に対する自分自身の考えをしっかりとらせる時間の確保から)
- ・集会とか講演会などの時には、『聞き取りメモカード』を持たせる。日常的に『情報キャッチメモ』を持たせる取組の継続

《指定事項②》

教職員の体罰の状況について

《現状及び今後の方針等》

体罰調査を25年度間に実施した結果、そういう案件は0でした。

26年度も4月末に、学校生活アンケートを実施して、生徒の状況把握に努めている。

日頃から折にふれて、体罰についての注意喚起を行い、また『校長室便り』に掲載している。

絶えず生徒の側に教員が居るように努めている。